



前橋市立新田小学校 4年1組 松田 結衣さん

毎年、病院祭「ふれあいデー」で地元小学校3校を対象にした絵画コンテストを開催、展示させていただいております。テーマは「あったらいいな、こんな病院」です。病院賞に輝いた絵をご紹介します。



理念 愛と希望

使命 国民の生を救うこと、心のものに医療・福祉の充実と弱者救済事業を推進し、社会の発展に尽くします。

基本方針

- 一、私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、公平・安全な医療を提供します。
- 一、私たちは、地域の医療機関との連携を深め、中核病院として地域の皆様に必要とされる医療を提供します。
- 一、私たちは、医療人としての誇りと責任を持ち、医療の質の向上・教育・研修に取り組みます。
- 一、私たちは、互いに協力信頼し、感謝する心でチーム医療に取り組みます。

群馬県済生会前橋病院

▶患者さんの権利と病院からのお願い

患者さんの権利

- 個人の人格が尊重され、適切な医療を受ける権利
- 病状や治療内容について十分な説明を受ける権利
- 自分の意思により治療を選択し決定する権利
- 医療に関し個人の情報を保護する権利
- 自分の診療内容について開示を受ける権利

患者さんへのお願い

- 病状について正確な情報を提示して下さい。
- 納得できるまで医療を受けるために、医療に関する説明は、十分に理解できるまで質問して下さい。
- 病院内での迷惑行為はつづしんで下さい。迷惑行為があった場合は退院していただく事があります。
- 病院の規則を守って下さい。



新年を迎えて

院長
西田 保二

新年明けましておめでとうございます。

昨年はイギリスEU離脱、トランプ次期アメリカ大統領誕生など予想外の結果となり経済、社会制度の不透明感が高まります。高齢化の進む成熟社会では社会構造の変化に応じた制度改革は不可欠ですが適正な検証や準備が足りないと弊害をもたらします。

医療では平成16年に2年以上の臨床研修を新卒医師に義務づけた医師臨床研修制度がスタートし、プライマリ・ケア、地域医療など幅広い医療知識を持つための研修を義務付けましたが、卒業大学での研修医減少や医師の大都市への集中を引き起こし負け組となった地方では医師不足による医療崩壊が起き社会問題となりました。行政と一体になり様々な対策が取られ徐々に改善がみられますが北関東では栃木、茨城県は順調に医師数が増加していますが群馬県では初期研修医が減り続けています。なかでも外科系は長時間に及ぶ手術や、緊急対応が常に必要であること、高い訴訟リスク、さらに群馬大学附属病

院外科の報道の影響も大きく、外科医を目指す若い医師は毎年数名と激減しており、外科医が独り立ちするまで10年以上かかることから単に医学部入学定員を増やしても即効性はなく危機的な状態です。先日、外科医療を守るために群馬大学で行われた県内に勤務する外科関連病院会議では、外科医不足は深刻な状況であることのみならず現在勤務している外科医の高齢化が明らかになりました。病院に勤務する外科医は乳がんや呼吸器、消化器がんなどの外科治療を担っており、救急医療現場でも複雑な外傷を取り扱うことから今後、がん治療や外傷などの救急医療は皆さんが生活する医療圏内で十分な治療ができなくなる事態が起きることが想定されます。また2年後から始まる専門医制度ではより専門的な知識と技術をもつ医師を育てるために病院の集中選択が進むと考えられます。

当院では今年度は外科、循環器内科、血液内科医師を増員することができたため、医療の質を守るとともに常態化している長時間労働をわずかですが改善できました。

今後も、地域医療を守り専門医療を提供していきますのでご支援をお願いし、皆様にとりましてよい一年であることを願い、新年のご挨拶とさせていただきます。

循環器内科・ 心臓血管外科病棟

循環器内科・心臓血管外科病棟 師長 細 渕 節 子



病棟の特徴

A棟2階に位置し、その名の通り心臓や血管などの循環器系に疾患を持つ患者さんが入院する病棟です。主に、高血圧・狭心症・心筋梗塞・心不全・弁膜症や、動脈瘤・静脈瘤などの病気に対し検査・治療を行っています。

心臓の病気を持っている患者さんが大半を占めているため、重症度も高く、急に容態が変化することもあります。また高齢化に伴い、足腰が弱いなど複合的な要因で、目が離せない、介助が必要、といった患者さんが数多くおります。一日中モニターの音、医療機器のアラーム音、ナースコール等が賑やかな病棟ですが、患者さんが高度医療を受けながらも、安全かつ安楽に過ごしていただける看護の提供に努めています。

病棟スタッフ

循環器内科医師7名、心臓血管外科医師1名、看護師36名、看護補助者5名（事務担当1名）、医師事務補助1名のスタッフで、日々患者さんの診療・看護を行っています。

患者さんの状態が変化したことを見逃さず適切に対処することが、患者さんのその後の病態を左右しますので、常に緊張感を持って業務にあたっています。また適切に対処できるように勉強会やシミュレーション等も行っています。また循環器という専門性を活かし、院内外でも救命処置などの指導的役割を担っているスタッフが大勢います。

当病棟が目指すところ

患者さんやご家族の立場に立ち、その思いを重視した医療・看護が提供できるように努めています。外来と病棟を一元化したこともその一貫で、「顔の見える医療・看護」を目指しています。

循環器疾患の特徴として、これからの季節は、体調が悪くなる患者さんが多くなります。病棟が満床となることも多く、ご迷惑をおかけすることがあるかと思います。しかし受診を希望される患者さんを断ることはありません。体調が悪ければ無理をせず、早めにご相談ください。またスタッフの対応・言葉遣い・身だしなみ等お気づきの点があれば、遠慮なくご指摘ください。



インフルエンザワクチンと 心血管疾患

循環器内科 部長 直田 匡彦



● インフルエンザ予防接種

例年より気温の低下が早く始まり、冬の到来が早かったですね。インフルエンザも流行が早く始まりましたが皆さん予防接種は受けたでしょうか？ していない方、したくない方もいらっしゃると思いますが、アレルギー等の問題がなければ接種したほうが良いのでは？

● “感染は現場で起きている”

インフルエンザは季節性に本邦では冬の乾燥期に流行します。

実験室では乾燥にウイルスが強く、加湿器やマスクの使用などが予防に有効だと言われていますが、実は熱帯地方では雨季に流行しています。流行の原因は様々で解明できていない要因が多く、レジャー施設や学校の教室内など、屋内に人が集いやすい状況がヒトからヒトへの感染を惹起し流行を作るのではないかと意見が重視されます。まさに“感染は現場で起きている”のですね。

そのため現時点ではワクチンが唯一最大の予防方法として推奨されています。ワクチンの効果を検討した文献は実は多くなく、約60%の有効率と考えるのが一般的です。ただしインフルエンザ

の集団における発生様式を考えると、ワクチンの接種率を高めることでその有効性が増える可能性も示唆されます。

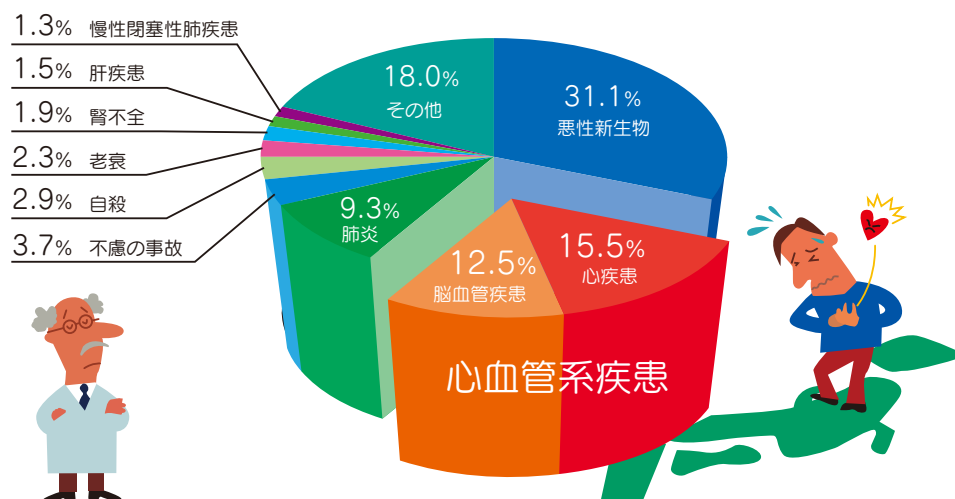
● 心血管系疾患とインフルエンザ

たくさんの狭心症や心不全・脳梗塞などのいわゆる心血管系疾患の方が当院に通院しておられます。また肺気腫などの閉そく性肺疾患を併せ持つ患者さんも多くいらっしゃると思います。ウイルス直接による肺炎や細菌などの2次感染の合併がインフルエンザによる死亡の原因となりますが、米国CDCや厚生労働省での報告ではインフルエンザで入院を必要とした患者さんのほぼ30~40%は心血管系の疾患を持っていたと報告され（図参照：平成16年厚生労働省の統計より）、無視できない病態と考えられます。

● 予防接種のお勧め

インフルエンザの感染をきっかけに心不全などの基礎疾患も悪化し、もちろん死亡率も同様に高くなることが推察されています。

接種しておけばよかったと後悔しても先に立たず、わたくしもなるべく接種をお勧めしています。



厚生労働省「人口動態統計」平成16年より一部改変



“治験”は明日に架ける橋

薬剤部長 兼 臨床研究支援室長
儀 野 淳 一

皆さんは、処方された薬を、もう飲まなくていいかな…と処分してしまったことはありませんか？実はその薬の価値は500億円！かもしれないのです。

今、世界中であらゆる種類の薬が使われています。それでも全ての疾患が克服できたわけではありません。健康や命を脅かす様々な疾患と闘いながら、もっとよく効き、もっと安全な薬を望んでいる患者さんが今も多くいらっしゃいます。

このため、新しい薬を開発する努力が世界中で続けられています。この新薬一つの開発には500～5,000億円もかかると言われています。

一つの新薬が生まれるには、30,000もの薬の候補がふるい落とされ、成功率は30,000分の1以下。新薬として全世界で1年間に認められる数は、たった25種類程度しかありません。しかも世に出るまでには10～20年もの歳月がかかっているのです。そして最終的に厚生労働省の審査をパスしたものだけが薬として製造を許可されます。

当院では、この新薬が出来るまでの壮大なドラマのなかで、人に対して本当に効き目があるのか、安全なのかについて調べるための“臨床試験”“治験”の実施に関わっています。

白血病や悪性腫瘍、腎臓、肝臓、循環器、内分泌、消化器疾患や外科、整形外科領域などにおいて

専門性と質の高い治療を行っているため、経験豊かな医師・医療スタッフや設備が充実していること。また、外部委員も含んで公正な判断の出来る治験審査委員会が定期開催される運営体制や、臨床検査技師等の資格を持ち治験と治験参加者を優しくサポート出来る治験コーディネーターを擁する臨床研究支援室も整っていることから、人権と安全を確保し、質の高い医療が提供できる専門施設として、全国的に認知されています。群馬県という地方でありながらも、今までも数多くの治験が依頼され、当院で実施した治験から、待ち望まれていた新薬が数多く誕生しているのです。

“治験”は、治療薬がなくて今も苦しむ患者さんに、新たな治療の可能性と安息をもたらす、まさに“明日に架ける橋”なのです。次の世代を守るため、当院は厳密な国際基準に基づいた臨床試験を実施できる医療機関として、安全性と有効性の高い医薬品開発に貢献しています。治験へのご理解とご協力を、どうぞ宜しくお願いいたします。

そして、お薬一つ一つに500億円もの価値と多くの人々の努力があることを知っていただき、正しい薬を正しく服用していただきたいと願っています。





がん病態栄養専門管理栄養士取得

Certified Specialist of Registered Dietitian for Cancers (CSRDC)

栄養科 主任
宮崎 純一



がんは、我が国において昭和56年より死因の第1位であり、国民の生命および健康において大きな問題になっています。予防策はもちろん、治療・療養において、患者さんのQOLの向上は重要な課題です。がん患者さんにおいては、疾病そのものや治療による影響、精神的な苦痛など、いくつかの原因が相まって、しばしば栄養管理が困難な状態となります。栄養管理を円滑に行うためには、がんに関する高度な知識と技術は欠かすことはできません。

そこで平成26年度より、公益社団法人日本栄養士会、一般社団法人日本病態栄養学会が共同して、がんの栄養管理・栄養療法に関する実践に即した専門職として、よりがんに特化した管理栄養士の育成とチーム医療への連携強化を目的に「がん病態栄養専門管理栄養士」の認定制度がスタートしました。現在の認定者

数は全国で264人（平成27年度末現在）です。

当院では外科・腹腔鏡外科センター、緩和ケア病棟を担当するほか、外科外来にて術前術後の栄養食事指導、化学療法中の食事相談、がんサロンの講師を務めています。がん病態栄養専門管理栄養士として、がんに対する予防・治療・ケアに食と栄養の側面から寄与することで、がん診療の向上につなげられればと思います。これからも身近な存在として、患者さんを全力でサポートさせていただきます。ご相談などございましたら、お近くのスタッフまでお声かけいただければと思います。



S A I S E I K A I D A Y O R I NEWS

●『Vivid q』小型超音波検査装置を整備しました

自動車事故被害者救済のために日本損害保険協会の寄付金を受けて、平成28年11月29日にGE社製小型超音波検査装置Vivid q（ビビッド キュー）を新たに整備致しました。

この装置は持ち運びに便利な小型省スペース設計でありながら、腹部から心臓領域まで大型装置の基本性能を余すところなく搭載しており、緊急を要する狭い救急処置室などでのポータブル超音波検査にも大きな威力を発揮します。これまでポータブル検査に使用出来る小型超音波検査装置は



病棟用装置と兼用だったため、業務が重なった場合直ぐに対応することが出来ませんでした。本機が導入されたことで、一刻一秒を争う救急医療の現場でも迅速に且つ精細な超音波検査が可能となり、より一層救急患者さんのお役に立てることが期待されます。

（検査科 技師長 林 和樹）

●『ふれあいデー2016』の収益を寄付させていただきました

今年度行われましたふれあいデーでは、約600名の方にご来場いただき大盛況となりました。農産物等の販売コーナーの売上金83,800円は、例年通り東地区社会福祉協議会に全額寄付させていただきました。東地区の社会福祉にご活用いただければ幸いです。



イベント開催報告

●ロビーコンサート

日時：12月3日(土)

場所：1F総合待合ロビー

出演：『倶楽部OHANA』&フラダンサー



ウクレレバンド『倶楽部OHANA』とフラダンサーによるコンサートを開催しました。クリスマスカラーの衣装でフラを披露してくださったフラダンサーの方々は、見とれてしまうほど華やかで素敵でした。そして、ウクレレの音色で聴くクリスマスソングや懐かしい曲が会場全体に温かく響き、皆さん手拍子をしたり、口ずさんだりして楽しんでいただきました。

●まちなかキャンパス

日時：12月20日(火)

場所：前橋市中央公民館 料理実習室

講師：栄養科長 小野澤 しのぶ



まちなかキャンパス～作ってみよう！健康食①～『おもてなしのヘルシーおせち』を開催しました。皆さん和気あいあいとした雰囲気の中、野菜をたっぷり使ったおせち料理を7品作りしました。料理実習は初めての試みでしたが、ご参加いただいた皆様にはとても喜んでいただきました。ぜひ次回も開催したいと思います。



栄養科通信

～旬の食材メニューのお届け～



鶏肉の八幡巻



鶏むね肉を使っているため、お正月料理のカロリーダウンに一品いかがでしょうか。

●材料(4人前)●

- 鶏むね肉……………1枚 (300g)
- 鶏挽肉……………50g
- 魚すり身……………50g
- 塩……………小さじ1/3
- マヨネーズ……………大さじ1/2
- 人参……………50g
- パプリカ……………1/2個
- アボカド……………1/2個

●作り方●

- ①鶏むね肉は観音開きにして、塩を振っておく。
- ②鶏挽肉・魚すり身を混ぜ、マヨネーズで下味をつけておく。
- ③人参は細長く切って茹でておく。パプリカ、アボカドも切っておく。
- ④鶏むね肉に②を塗り、具材を埋め込むように並べ、アルミホイルをしいて端から巻き込む。
- ⑤200℃に予熱したオーブンで20～25分焼く。
- ⑥肉を1cmの厚さに切って器に盛り、柚子味噌※を添える。

※柚子味噌

- 西京味噌……………大さじ1・1/3
 - 砂糖……………大さじ1・1/3
 - みりん……………大さじ1/2
 - だし汁……………大さじ2
 - 柚子の皮すりおろし……………少々
- 材料をあわせて火にかけ、よく練り合わせる。火を止めてから、すりおろした柚子の皮を入れる。

栄養価(1人分)

エネルギー	糖質	たんぱく質	脂肪	食物繊維	塩分
198kcal	7.9g	22.1g	10.9g	1.3g	1.2g

登録医紹介シリーズ

当院は地域の先生方と協力して診療をおこなっています

中田クリニック



院長 中田 裕一
住所 前橋市箱田町1039-4
電話 027-251-1360
診療科 内科、小児科



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:00~12:30	○	○	○	○	○	○ 13:00まで	休
午後 14:30~18:30	○	○	休	○	○	休	休

前身は『中田小児科医院』であり、昭和45年より大利根町で小児科を中心に地域に根ざした診療を行ってまいりました。平成18年4月より当地に移転、名称を『中田クリニック』に変更し、内科を中心に小児科も含めた地域のかかりつけ医としての診療を行っております。訪問診療や住診、看取りなどの在宅診療にも注力しております。これからも地域の医療・保健・福祉にお役に立てるよう、診療に取り組んでまいりますので宜しくお願い申し上げます。

わかば病院



院長 南雲 俊之
住所 前橋市新前橋町3-3
電話 027-255-5252
診療科 内科、リウマチ科、外科



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	休
午後	休	※	※	休	休	休	休

※火曜のリウマチ外来(14:00~17:00)、水曜の呼吸器外来(15:00~18:00)、水曜の整形外科外来は休診

整形外科、リハビリテーション科、呼吸器科、皮膚科
 スタッフ一同は、透析医療やリハビリテーション医療を中心に、地域社会の皆様により充実した生涯を送っていただくために支援させていただくことを使命と考えております。この目的のため、より安全で、より利便性の高い医療を展開して行く所存です。地域社会の皆様、連携をしていただいている医療、介護福祉関係の皆様、よろしく願いいたします。

吉田小児科医院



院長 吉田 昭子
住所 前橋市箱田町395-3
電話 027-253-7733 (窓口電話)
 027-253-7751 (一般診療予約)
診療科 小児科



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	休
午後 15:00~17:45	○	○	○	休	○	休	休

※14:30~15:00は予防接種・乳児検診・育児相談等

平成2年に開業しました。院長は、その間3人の子育てをし、“おばあちゃん”の年代になりました。公私の経験を活かして地域の皆様のお役に立ちたいと考えております。病気に限らず、育児でお困りのこと等、お気軽に御相談下さい。

外来医師診療表

◆休診日：第2・4・5土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）

◆内科総合外来の担当医師は変更することがあります。

【午前】受付：午前8時30分～午前11時（診察開始：午前9時）・内科総合外来以外は予約制

【午後】完全予約制

平成29年1月1日現在

診療科	午前/午後	月	火	水	木	金	土(第1・3)
内科総合 外来(初診)	9:00 10:30 10:30 12:00	福 田	荻 原	池 田	三 原	吉 永	交替制
		加 藤(幹)	月 田	飯 野	三 島	松 井	
血液内科	午前	星 野			高 田	初 見	
	午後		佐倉・高田・初見 星野・三原	佐 倉			
腎臓 リウマチ内科	午前	月 田	半 田	三 島			
	午後	前 田			【CAPD外来】 月田(第2)・前田(第4)	三 島 木 下	
内分泌・ 糖尿病内科	午前					荻 原	荻 原
	午後	荻 原		青 木	荻 原		
呼吸器内科	午前				久田(第3休診)		岡 山
	午後			牧 元・岩 崎		岡 山(第2)	
消化器内科	午前		【胆・脾】樋 口 【肝臓】大 山	【胆・脾】 樋口・吉永・吉田	【大腸】 蜂 巣	【胆・脾】田 中 【肝臓】齋 藤	
	午後			【肝臓】 橋爪(第1・3・5)	【肝臓】 大 山・齋 藤 高 木(第2・4)		
循環器内科	午前	池 田・直 田 館 野	中 野・福 田 戸 島	中 野・福 田 戸 島	中 野・土 屋 石 窪	池 田・土 屋 【睡眠障害外来】福田(第5休診)	福 田 池 田
	午後	【禁煙外来】 池 田		【ペースメーカー外来】池田 【心不全・動脈硬化外来】館野	【弁膜症・先天性 心疾患外来】館野	直 田	
外 科	午前	藍 原・萩 原	細 内・和 田	西 田・萩 原	細 内・須 賀	細 内・松 村 和 田	交替制
		【乳腺外来】徳田	【乳腺外来】鈴木	【ヘルニア外来】藍原	【食道外来】鈴木	【呼吸器外来】茂木	
緩和ケア外来	午前					細 内	
整形外科	午前	後 藤 長谷川	中 島・岡 田 【脊椎】飯塚(第3)	中 島 金 澤	長谷川 岡 田	後 藤 金 澤	第1:中島・長谷川 【脊椎】井野 第3:後藤・金澤
リハビリテーション科	午前				【関節】白 倉		
心臓血管外科	午後	石 山		石 山			
小 児 科	午前					【循環器】鈴木(尊)(第1・3・5)	
	午後					【循環器】鈴木(尊)	
眼 科	午前	萩 原	中 村	中 村・福 地	中 村・岸	中 村	交替制
泌尿器科	午前	鈴 木 (和)					
緩和ケア内科 (完全予約制)	午後		平 山		平 山		

交通のご案内



- * 新前橋駅よりタクシーで10分
- * 前橋駅よりバスで20分／高崎駅よりバスで40分
- * 前橋市コミュニティマイバス（100円）もご利用いただけます。

上信バス時刻表案内 (済生会前橋病院発着予定時刻表)

平成28年4月1日現在

行先 時間	前橋駅行	中央前橋駅行	高崎駅行
7	45	07	01 44
8		35	18 52
9	48	19	57
10	50	22	36
11		42	02 40
12			16
13	03	48	06
14			03
15	12	44	12
16	32		10
17	05		08 40
18		01 34	18
19	09 59		25 45
20			06

印: 土日祝日は運休 印: 土日祝日のみ運行

お問い合わせ ☎027-252-6011(代)

患者さんへ ●前橋市成人健康診査のお問い合わせ

医事課窓口 ☎027-252-6011 内線1101

●人間ドックのご予約

検診センター ☎027-252-1959(直通)

医療機関様

●診察・検査(CT・MRI・内視鏡(上部・下部)・心エコー)・入院・セカンドオピニオン・緩和ケアのご予約、ご紹介
地域連携課 ☎027-252-1751(直通)

介護関連

●入所・通所に関するご相談
介護老人保健施設あずま荘

☎027-254-0108

●前橋市高齢者福祉サービスのご相談

地域包括支援ランチあずま荘

●介護保険サービスに関するご相談

居宅介護支援事業所あずま荘

☎027-255-1511